

総合科学教育研究センター教員個人業績

凡 例

以下は、秋田県立大学総合科学教育研究センター所属教員の2008年1月1日から2008年12月31日までに公表あるいは実施された主な業績を示すものである。業績の分類は、以下の5つのカテゴリに従った。

- I 著書・学術論文等
- II 学会報告等
- III 社会活動・受賞歴等
- IV 講演・公開講座等
- V その他の活動

高橋秀晴 教授

I 著書・学術論文等	<p>*学術論文等</p> <p>1) 「出版報国男子の本懐／「新潮」創業の佐藤義亮」(秋田魁新報社『秋田魁新報』学芸欄連載、2008年1月11日～)</p> <p>2) 「潜在する原体験—多喜二にとっての生地秋田—」(『2008 Kobayashi Takiji Memorial Symposium in Oxfoed 予稿集』、pp.51～55、2008年9月16日)</p> <p>3) 「錯綜する真実—一九二五年の夢二と順子—」(『秋田文学』第四次第十七号、pp.39～50、2008年9月20日)</p>
II 学会報告等	<p>1) 「潜在する原体験—多喜二にとっての生地秋田—」(2008 Kobayashi Takiji Memorial Symposium in Oxfoed、2008年9月16日～18日、於：オックスフォード大学)</p> <p>2) 「「種蒔く人」を支えた人」(日本比較文学会2008年度東北大会、2008年11月29日、於：あきた文学資料館)</p>
III 社会活動・受賞等	<p>*社会活動</p> <p>1) 日本近代文学会東北支部運営委員(1995年5月～)</p> <p>2) 秋田県立秋田南高等学校学校評議員(2005年4月～)</p> <p>3) 秋田県高等学校教育研究会国語部会顧問(2006年7月～)</p> <p>4) 秋田県教職員健康審査会第1部会委員(2006年10月～)</p> <p>5) あきた文学資料館収集検討委員(2007年4月～)</p> <p>6) 秋田県立博物館協議会委員(2007年7月～)</p> <p>7) 日本社会文学会評議員(2007年7月～)</p> <p>8) 秋田県高等学校文芸コンクール選考委員(2007年7月～2008年3月)</p> <p>9) 『社会文学』第28号編集委員・査読委員(2007年9月～2008年7月)</p> <p>10) 秋田県脳血管研究センター医薬品受託研究審査会委員(2007年11月～)</p> <p>11) 秋田県高等学校キャリア教育調査研究委員会運営指導委員(2007年12月～)</p> <p>12) 「あきたの文芸」選考委員(2008年4月～)</p> <p>13) 秋田県青少年環境浄化審議会会長職務代理(2008年4月～)</p> <p>14) 株式会社秋田放送番組審議会副委員長(2008年7月～)</p> <p>*受章</p> <p>1) 第33回(平成19年度)秋田県芸術選奨</p>
IV 講演・公開講座等	<p>1) 「出版報国亦男子の本懐—新潮社初代社長佐藤義亮の志—」(平成20年度書道会合同研修会講演会、2008年1月14日、於：イヤタカ)</p> <p>2) 「人生の先取点—志望達成の意味をめぐって—」(青森県立青森南高等学校父母教師会総会講演会、2008年4月19日、於：青森県立青森南高等学校)</p> <p>3) 「徳田秋声と山田順子」(日本文学同好会、2008年5月11日、於：あきた文学資料館)</p>

	<p>4) 「佐藤義亮と近代日本」(秋田県教育協会講演会、2008年5月16日、於：秋田県教育会館)</p> <p>5) 「山田順子の本荘・横手・湯沢」(日本文学同好会、2008年5月18日、於：あきた文学資料館)</p> <p>6) 「秋田の文人たち」(第26回高校生のための文芸セミナー、2008年5月29日、於：秋田県生涯学習センター分館ジョイナス)</p> <p>7) 「佐藤義亮生誕一三〇年—新潮社初代社長と秋田—」(あきた文学資料館文学講座、2008年6月14日、於：あきた文学資料館)</p> <p>8) 「近代日本の文化と秋田県人の気概」(平成20年度秋田県小・中学校長研究大会講演、2008年8月21日、於：秋田県総合教育センター)</p> <p>9) 「文章の彫琢—構想から執筆まで—」(あきた文学資料館講座、2008年9月26日、於：あきた文学資料館)</p> <p>10) 「文章の仕上げ」(あきた文学資料館講座、2008年10月2日、於：あきた文学資料館)</p> <p>11) 「秋田の近代作家」(平成20年度高校生パワーアップ推進事業プロフェッショナルの活用(大学教員の活用)、2008年11月26日、於：秋田県立秋田西高等学校)</p> <p>12) 「米と秋田の文学」(美の国カレッジ/あきた学専門講座・あきた文化学Ⅱ/米に見る秋田の歴史・民俗、2008年12月13日、於：秋田県生涯学習センター)</p>
<p>V その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 平成20年度科学研究費補助金(基盤研究(C))「新資料による小牧近江研究」(課題番号20520167) 研究代表者</p> <p>2) 平成20年度秋田県立大学学長プロジェクト研究「新資料による山田順子研究—徳田秋声・竹久夢二との関わりをめぐって—」 研究代表者</p> <p>3) 「戦略的大学連携支援事業/地域社会の諸課題をテーマとした学際的研究プロジェクト」 研究分担者</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) 「小牧近江関係新資料に関する分析と考察」(「平成19年度秋田県立大学学長プロジェクト研究成果報告書」、pp.65~67、2008年11月12日)</p> <p>* 新聞・雑誌掲載等</p> <p>1) 「講評」(『平成19年度第9回高校生文芸道場/北海道・東北ブロック大会秋田大会/2007大会集録』、p.9、p.10、p.11、p.12、p.13、2008年2月15日)</p> <p>2) 講演録「仙北市の先人たち—佐藤義亮・田口掬汀・千葉治平—」(『小説「夢の碑」の周辺—掬汀、百穂、義亮の故郷—』、pp.65~77、2008年3月8日)</p> <p>3) 【関連資料】「揺籃期の『新聲』と秋田」(『小説「夢の碑」の周辺—掬汀、百穂、義亮の故郷—』、pp.79~86、2008年3月8日)</p> <p>4) 【ディスカッション】「地域の図書館活動について—地域を読み込み、読み解くためには—」(『小説「夢の碑」の周辺—掬汀、百穂、義亮の故郷—』、pp.91~103、2008年3月8日)</p>

- 5) 講演録「小説を読む行為と教育」(秋田県高等学校教育研究会国語部会『研究紀要』第四十四号、pp.34~44、2008年3月)
 - 6) 講演録「国語教師であることの喜び」(秋田県高等学校教育研究会国語部会『研究紀要』第四十四号、pp.64~73、2008年3月)
 - 7) 選評「〈小説〉とは」(『あきたの文藝』第41集、pp.89~90、2008年10月24日)
 - 8) 「松田解子／人と文学」(「純粹で無垢な魂——松川真澄ひとり舞台／「おりん口伝」伝」、2008年11月16日)
- * 記事・取材協力等
- 1) 「県史学界のあゆみ／07年を振り返って」(『秋田魁新報』、2008年1月24日)
 - 2) 「秋田県芸術選奨」(「A A B スーパー J チャンネルあきた」、2008年1月28日、18:17)
 - 3) 「県芸術選奨／打矢さんら4人選出／特別賞1個人、1団体が受賞」(『秋田魁新報』、2008年1月29日)
 - 4) 「打矢さんら4人選出／秋田県芸術選奨／表彰式は来月13日」(『河北新報』、2008年1月29日)
 - 5) 「県芸術選奨に4人」(A B S 秋田放送「A B S 秋田放送ニュース」、2008年1月29日、13:30)
 - 6) 芸術選奨関連ニュース (NHK・民放各社、2008年2月12日)
 - 7) 「4人に芸術選奨」(A B S 秋田放送「NEWSリアルタイムあきた」、2008年2月13日)
 - 8) 「県芸術選奨／「たゆまぬ努力に敬意」／5個人、1団体に表彰状」(『秋田魁新報』、2008年2月14日)
 - 9) 「平成十九年度 秋田県高等学校教育研究会／国語部会活動状況報告」(秋田県高等学校教育研究会国語部会『研究紀要』第四十四号、pp.84~85、2008年3月)
 - 10) 「徳田秋声の書簡／由利本荘で発見／作家・山田順子(由利本荘出身)の実家あて／滞在中の厚遇に謝意」(『秋田魁新報』、2008年4月15日)
 - 11) 「竹久夢二の絵と徳田秋声の書簡発見」(NHK「ニュースこまち」、2008年4月15日~16日)
 - 12) 「3点のデッサン／山田順子／竹久夢二短い恋を刻む／徳田書簡とともに発見」(『秋田魁新報』、1面に関連記事「夢二の素描も発見／由利本荘市・山田順子の実家」、2008年4月16日)
 - 13) 「夢二の絵秋田で3点見つかる／交際中の作家モデルに」(共同通信、2008年4月16日)
 - 14) 「新発見徳田秋声の書簡／秋田が文学史の表舞台に」(A B S 秋田放送「NEWSリアルタイムあきた」、2008年4月16日)
 - 15) 「竹久夢二のデッサン／徳田秋声の書簡金沢市へ」(A A B 秋田朝日放送「A A B スーパー J チャンネルあきた」、2008年4月17日)
 - 16) 「夢二の3作品調査／県立大教授女流作家との関係分析／絵に文添え「微妙な思い」」(『読売新聞』、2008年4月20日)
 - 17) 「夢二が愛した寝顔／交際相手の作家がモデル／由利本荘／絵3点見つかる」(『河北新報』、2008年4月22日)

- 18) 「杉／山田順子」(『秋田魁新報』、2008年4月28日)
- 19) 「道々／作家・山田順子／夢二との思い出大切に」(『読売新聞』、2008年5月1日)
- 20) 「夢二・順子 重ねた心／スケッチ3点 由利本荘で発見／大正末期の旅行時描く■離別後の添え書きも／金沢ですから展示」(『朝日新聞』、2008年5月10日)
- 21) 「夕刊時言」(『秋田魁新報』、2008年7月7日)
- 22) 「生地秋田とのつながり発進／9月 英国 多喜二テーマに国際シンポ／県立大 高橋教授／弱者、差別の表現考察」(『秋田魁新報』、2008年7月7日)
- 23) 「英国で多喜二のシンポ／9月県立大教授「故郷秋田の影響」発表」(『読売新聞』、2008年7月11日)
- 24) 「後藤宙外の草稿発見／池田文太郎の業績まとめた伝記／大仙市あてに昨年3月匿名で郵送／池田氏庭園巨大燈籠石材運搬過程も記す」(『秋田魁新報』、2008年8月6日)
- 25) 「大館市出身プロレタリア作家小林多喜二作品再評価の理由」(A B S 秋田放送「NEWSリアルタイムあきた」、2008年10月6日)
- 26) 「秋田市出身の劇作家・故青江舜二郎／生原稿など本県へ／評伝、演劇史研究で功績／長男「父と仕事を知って」」(『秋田魁新報』、2008年10月11日)
- 27) 「秋田文学第17号刊行」(『秋田魁新報』、2008年10月24日)
- 28) 「月曜論壇／「種蒔く人」と桐山さん」(『秋田魁新報』、2008年11月24日)
- 29) 「秋田市で日本比較文学会東北大会／小牧近江の世界紹介／桐山さん祖父の思い出語る」(『秋田魁新報』、2008年11月30日)
- * 助言等
- 1) 公開文学フォーラム「音楽・美術・文学のジャンルが交差するとき」コーディネーター(平成20年度あきた県民芸術祭2008、2008年10月24日、於：あきた文学資料館)
- * 被書評・引用等
- 1) 引用(『ふるさとの「地霊」に耳を澄ませば』、pp.216～218、2008年3月19日)
- 2) 書評「高橋秀晴著『七つの心象—近代作家とふるさと秋田』(秋田魁新報社、二〇〇六年)」(『秋田県保険医協会報』No.395、pp.38～43、2008年8月25日)

小松田儀貞 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 学術論文</p> <p>1) 小松田儀貞 「「再生産戦略」再訪——ブルデュー社会学における「戦略」概念についての一考察——」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター、2008年、第9号、1～8ページ)</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p>	<p>1) あきた女性チャレンジ支援推進協議会会長 (2008年5月～)</p> <p>2) 同チャレンジモデル構築チーム (2008年5月～)</p> <p>3) エフエム秋田番組審議会委員 (2008年4月～)</p> <p>4) 「第4回 あきた女性チャレンジ事例発表会」(2008年9月29日、於：遊学舎) コーディネーター</p>
<p>V その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) 平成20～22年度科学研究費補助金(基盤研究(C))(一般)「巨大干拓事業による潟湖 commons の崩壊と再生に関する環境社会学的研究」(課題番号20530467) 研究代表者 谷口吉光(秋田県立大学教授) 研究分担者</p> <p>* 報告書</p> <p>1) 小松田儀貞 「M・フーコー〈生権力〉論の問題性——統治性と国家のゆくえ——」平成18～19年度科学研究費補助金(基盤研究(C)) 「「生命操作の時代」における人間生命と社会の存在形態の可能性に関する研究」(研究代表者 藤山嘉夫(横浜市立大学教授)) 研究成果報告書、分担執筆(第5章) 51～66ページ。</p>

長澤吉則 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 学術論文</p> <p>1) 長澤吉則・出村慎一・内山応信・辛紹熙・青木宏樹 「指標追従による筋力発揮調整能と瞬発握力測定値の関係」(秋田県立大学総合科学研究彙報 9 : 9-18, 2008, 3) (査読無).</p> <p>2) Yoshinori Nagasawa, Shinichi Demura: Provisional norms by age group for Japanese females on the controlled force-exertion test using a bar-chart display. Perceptual and Motor Skills 106: 785-794, 2008, 6 (査読有).</p> <p>3) Shinichi Demura, Masakatsu Nakada, Shunsuke Yamaji, Yoshinori Nagasawa: Relationships between force-time parameters and muscle oxygenation kinetics during maximal sustained isometric grip and maximal repeated rhythmic grip with different contraction frequencies. Journal of Physiological Anthropology 27: 161-168, 2008, 6 (査読有).</p> <p>4) Shinichi Demura, Masakatsu Nakada, Yoshinori Nagasawa: Gender difference in</p>
-------------------	--

	<p>subjective muscle-fatigue sensation during sustained muscle force exertion. Tohoku Journal of Experimental Medicine 215: 287-294, 2008, 6 (査読有).</p> <p>5) Masanobu Uchiyama, Shinichi Demura, Shigeru Shimada, <u>Yoshinori Nagasawa</u>, Myung Kim, Takayoshi Yamada, Hiroki Aoki: Physical fitness changes of Japanese male students at the National College of Technology. Journal of Education and Health Science 53: 374-385, 2008, 6 (査読有).</p> <p>6) 出村友寛・出村慎一・松田繁樹・<u>長澤吉則</u>「都道府県別にみたサッカーの普及状況：選手数、チーム数、および審判員数に着目して」(教育医学53：391-397, 2008, 6) (査読有).</p> <p>* Proceeding</p> <p>1) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、山田孝禎、池本幸雄：高等専門学校男子学生の食習慣の縦断的推移－2001年入学生の4年間の縦断的資料を用いて、教育医学54：37, 2008, 8.</p> <p>2) 山田孝禎、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、佐藤進：運動習慣および体力水準の違いが青年の疲労自覚症状知覚頻度に及ぼす影響、教育医学54：79-80, 2008, 8.</p> <p>3) 佐藤進、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、北林保、吉村喜信、菅野紀昭：日本人成人の利き手に及ぼす矯正経験および左利き親族の影響、教育医学54：81, 2008, 8.</p> <p>4) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、辛紹熙、出村友寛：擬似ランダム波形表示法による筋力発揮調整能の年代差および性差、体力科学57：809, 2008, 12.</p> <p>5) 北林保、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、中田征克、松田繁樹、辛紹熙：ピンチ力の一側優位性、体力科学57：978, 2008, 12.</p> <p>6) 出村慎一、<u>長澤吉則</u>、山次俊介、山田孝禎：低反発マット路歩行動作と下肢筋機能、転倒リスクおよび生活自立度との関係、体力科学57：801, 2008, 12.</p> <p>7) 内山応信、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、松田繁樹：Functional reach テストのパフォーマンスと各種体力要素との関係、体力科学57：982, 2008, 12.</p>
<p>II 学会報告等</p>	<p>* 学会報告</p> <p>1) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、山田孝禎、池本幸雄「高等専門学校男子学生の食習慣の縦断的推移－2001年入学生の4年間の縦断的資料を用いて」第56回日本教育医学会大会（於：大阪教育大学柏原キャンパス）2008年8月</p> <p>2) 山田孝禎、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、佐藤進「運動習慣および体力水準の違いが青年の疲労自覚症状知覚頻度に及ぼす影響」第56回日本教育医学会大会（於：大阪教育大学柏原キャンパス）2008年8月</p> <p>3) 佐藤進、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、北林保、吉村喜信、菅野紀昭「日本人成人の利き手に及ぼす矯正経験および左利き親族の影響」第56回日本教育医学会大会（於：大阪教育大学柏原キャンパス）2008年8月</p> <p>4) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、内山応信、辛紹熙「正弦波形と擬似ランダム波形を用いた筋力発揮調整能の年代差および個人差」日本体育学会第59回大会（於：早稲田大学早稲田</p>

	<p>キャンパス) 2008年 9 月</p> <p>5) 辛紹熙、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、佐藤敏郎、山本裕太「片脚前後ステップ動作によるバランス能力評価法の検討」日本体育学会第59回大会 (於：早稲田大学早稲田キャンパス) 2008年 9 月</p> <p>6) 出村友寛、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、松田繁樹「審判員数からみたサッカーの都道府県別普及状況」日本体育学会第59回大会 (於：早稲田大学早稲田キャンパス) 2008年 9 月</p> <p>7) 宮口和義、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、山次俊介「成年男子の踏切脚決定に関わる要因について」日本体育学会第59回大会 (於：早稲田大学早稲田キャンパス) 2008年 9 月</p> <p>8) <u>長澤吉則</u>、出村慎一、辛紹熙、出村友寛「擬似ランダム波形表示法による筋力発揮調整能の年代差および性差」日本体力医学会第63回大会 (於：別府ビーコンプラザ) 2008年 9 月</p> <p>9) 北林保、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、中田征克、松田繁樹、辛紹熙「ピンチ力の一側優位性」日本体力医学会第63回大会 (於：別府ビーコンプラザ) 2008年 9 月</p> <p>10) 出村慎一、<u>長澤吉則</u>、山次俊介、山田孝禎「低反発マット路歩行動作と下肢筋機能、転倒リスクおよび生活自立度との関係」日本体力医学会第63回大会 (於：別府ビーコンプラザ) 2008年 9 月</p> <p>11) 内山応信、出村慎一、<u>長澤吉則</u>、松田繁樹「Functional reach テストのパフォーマンスと各種体力要素との関係」日本体力医学会第63回大会 (於：別府ビーコンプラザ) 2008年 9 月</p> <p>* 学会報告座長</p> <p>1) 第56回日本教育医学会大会 B会場口頭発表部門座長 (2008年 8 月、於：大阪教育大学柏原キャンパス)</p>
<p>III 社会活動 ・受賞等</p>	<p>* 各種公的団体、審議会への参加・所属等</p> <p>1) 日本教育医学会常任理事 (2007年 8 月～)</p> <p>2) 日本体育測定評価学会理事 (2005年 4 月～)</p> <p>3) 日本体育測定評価学会研究助成委員会委員長 (2007年 4 月～)</p> <p>4) 日本体育測定評価学会研究推進委員会委員 (2005年 4 月～)</p> <p>5) 日本体力医学会東北地方会幹事 (1998年 9 月～)</p> <p>6) 第56回日本教育医学会大会実行委員 (2008年 8 月)</p> <p>7) 秋田県スポーツ医・科学委員会委員 (1999年 4 月～)</p> <p>8) 秋田県立大学全学サッカー部監督 (2001年 4 月～)</p> <p>9) 東北地区大学サッカー連盟大学委員会運営 2 部A 委員 (2007年 4 月～)</p> <p>10) 東北地区大学サッカー連盟大学委員会監事 (2007年 4 月～)</p> <p>11) 第33回東北地区大学サッカーリーグ大会役員 (委員) (2008年 9 月)</p> <p>12) 第 3 回ミズノ・工藤スポーツ杯小学生バレーボール大会会長 (2008年 2 月)</p> <p>13) TDK 小学生バレーボール教室アドバイザー (2008年 7 月)</p>

総合科学教育研究センター個人業績

	<p>* 資格、受賞歴等</p> <p>1) 金沢大学大学院自然科学研究科学位論文審査員 (博士課程担当者) (2006年7月～)</p> <p>2) 日本教育医学会 学会賞 (論文) (2008年8月)</p> <p>3) 秋田大学教養基礎教育<学生からの評価が高い授業>認定証 (2008年11月)</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<p>1) 秋田大学教育文化学部非常勤講師<スポーツ教育> (2003年4月～)</p> <p>2) 秋田大学教育文化学部非常勤講師<スポーツ論> (2007年12月～)</p> <p>3) 平成19年度日本体育学会青秋支部学会講演<指標追従による上肢・下肢の筋力発揮調整能評価方法の開発> (2008年3月)</p> <p>4) 平成20年度中級スポーツ指導員養成講習会講師 (2008年12月)</p>
<p>V その他の活動</p>	<p>* 助成研究</p> <p>1) <u>長澤吉則</u> (研究代表者) : 文部科学省科学研究費補助金若手研究 (B) 「視覚・固有受容系による上肢・下肢の筋力発揮調整能に関する研究」 (課題番号17700476) 平成17年度～平成19年度.</p> <p>2) 出村慎一: 文部科学省科学研究費補助金萌芽研究 「高齢者の転倒による大転子骨折予防のためのエアバック式ヒッププロテクターの開発」 (課題番号19650187) 平成19年度～平成21年度 (共同研究: 研究分担者).</p> <p>3) <u>長澤吉則</u> (研究代表者) : 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (C) 「視覚・固有受容系による各種動的筋力発揮調整能の優先性に関する研究」 (課題番号20500506) 平成20年度～平成22年度.</p> <p>* 報告書等</p> <p>1) <u>長澤吉則</u> 「視覚・固有受容系による上肢・下肢の筋力発揮調整能に関する研究」 平成19年度科学研究費補助金若手研究 (B) 実績報告書、2008年5月</p> <p>2) <u>長澤吉則</u> 「上肢の伸張-短縮サイクル運動を用いたフィードバック制御機能評価方法の開発」 平成19年度学長プロジェクト特別研究報告書、2008年5月</p>

紺野 祐 准教授

I 著書・学術論文等	<p>* 著書</p> <p>1) 紺野 祐・走井洋一・小池孝範・清多英羽・奥井現理『教育の現在——子ども・教育・学校をみつめなおす』(学術出版会) 2008年2月25日(共著・分担執筆)</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) 紺野 祐「『心の教育』の可能性に関する一考察——《教育された》ことの意味の検討を手がかりに」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2008年3月31日、第9号、19～37ページ(単著)</p> <p>2) 紺野 祐「人間形成と環境——子どもの『レジリエンス』を手がかりに——」『プロテウス』(仙台ゲーテ自然学研究会) 2008年3月31日、第10号、73～87ページ(単著)</p>
II 学会報告等	<p>1) 紺野 祐「人間の『教え』行為に関する基礎的分析——《ホモ・エドゥカンス》の資質能力」日本教師教育学会第18回研究大会、2008年9月14日(於：工学院大学)(単独)</p>
III 社会活動・受賞等	<p>1) 東北教育哲学教育史学会役員(監査)(2005年9月～)</p>
IV 講演・公開講座等	<p>1) 秋田県教員免許更新講習(予備講習)「教育の最新事情」領域講師、2008年8月4日(於：秋田大学)</p> <p>2) 秋田県立湯沢高等学校高大連携授業「アドバンスト講義」講師、2008年9月17日(於：秋田県立湯沢高等学校)</p>
V その他の活動	<p>1) 日本学校農業クラブ東北連盟大会「クラブ活動紹介発表会」審査委員、2008年8月28日・29日</p>

高階 悟 教授

I 著書・学術論文等	1) 高階 悟「カート・ヴォネガットと戦争体験」『秋田県立大学総合科学研究彙報』（秋田県立大学総合科学教育研究センター）2008年9号、39～48ページ、（単著）
III 社会活動・受賞等	1) 東北英語教育学会 理事（2006年4月～） 2) 東北英語教育学会 研究紀要編集委員（2008年4月～） 3) 秋田県 TOEIC 推進協議会委員（2003年4月～） 4) 法廷通訳人登録 秋田地方裁判所 （2005年4月～）
IV 講演・公開講座等	1) 秋田西高校・秋田県立大学英語高大連携授業：「コンピュータを使っの英語の授業」（2008年7月23日～27日、秋田キャンパス） ※秋田魁新報（2008年7月24日）で「一味違う英語教育体験」として秋田西高校生の高大連携授業の様子が紹介された。 ※秋田朝日テレビ（2008年7月24日）の「Super J あきた」で高大連携授業として秋田西高校生が秋田県立大学で英語を学ぶ様子が紹介された。
V その他の活動	1) 研究報告「カート・ヴォネガットと『スローターハウス5』」「E S S ささやき」サークル、（2008年9月28日、秋田市中央公民館） 2) 薫風満天フィールド交流塾活動に「塩ビ管尺八手作り・演奏講座」を企画（2008年5月10日～6月28日まで4回、遊学舎、大瀧キャンパス） ※秋田魁新報（2008年5月12日）に「独特の音色：和の世界へ」として遊学舎での学生の活動が紹介された。 ※秋田テレビ（2008年12月20日）の「民謡お国めぐり」で薫風満天フィールド交流塾活動から発展した学生の「和楽器サークル」活動が紹介された。

高橋 守 教授

I 著書・学術論文等	<p>著書</p> <p>1) Stephen Shucart, Tsutomu Mishina, Mamoru Takahashi, Tetsuya Enokizono. "The CALL Lab as a Facilitator for Autonomous Learning." <i>Handbook of Research on Computer-Enhanced Language Acquisition and Learning</i>. (New York: Information Science Reference) 2008, pp.483-495 (共著)</p> <p>学術論文</p> <p>1) 高橋 守「一般教育の英語(3):アクション・ログと自律的学習」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター)2008年、第9号、pp. 49-56 (単著)</p> <p>2) 高橋 守「CBI(内容中心教授法)の基礎と応用」『秋田英語英文学』(秋田英語英文学会)2008年、第50号、pp. 10-15 (単著)</p>
II 学会報告等	<p>1) Mamoru Takahashi, Stephen Shucart. "Content-Based Instruction: A Tale with Two Flavors." (全国語学教育学会第34回年次大会、2008年11月2日、於：国立オリンピック記念青少年総合センター) (共同)</p> <p>2) Mamoru Takahashi, Stephen Shucart. "Content-Based Instruction: A Tale with Two Flavors." (全国語学教育学会秋田支部例会、2008年11月22日、於：国際教養大学) (共同)</p>
IV 講演・公開講座等	<p>1) 平成20年度国際科2年「外部講師による英語学習活動」講師(2008年11月10日、於：秋田県立由利高等学校)</p> <p>2) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業(2008年7月15日、10月7日、10月14日、於：秋田県立大学)</p>

檜山 晋 教授

I 著書・学術論文等	<p>学術論文</p> <p>1) Hiyama, Susumu. 'Clause-Initial Elements in "The Vercelli Homilies".' 『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター)2008年、第9号、pp. 57-68 (単著)</p>
IV 講演・公開講座等	<p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業(2008年5月中に3回、於：秋田県立大学)</p>

Stephen Shucart 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>著書</p> <p>1) Stephen Shucart, Tsutomu Mishina, Mamoru Takahashi, Tetsuya Enokizono. "The CALL Lab as a Facilitator for Autonomous Learning." <i>Handbook of Research on Computer-Enhanced Language Acquisition and Learning</i>. (New York: Information Science Reference) 2008, pp.483-495 (共著)</p> <p>学術論文</p> <p>1) Stephen Shucart 「Blended Learning in the CALL Lab」『秋田県立大学総合科学研究彙報』(秋田県立大学総合科学教育研究センター) 2008年、第9号、pp. 69-76 (単著)</p>
<p>II 学会報告等</p>	<p>1) Mamoru Takahashi, Stephen Shucart. "Content-Based Instruction: A Tale with Two Flavors." (全国語学教育学会第34回年次大会、2008年11月2日、於：国立オリンピック記念青少年総合センター) (共同)</p> <p>2) Mamoru Takahashi, Stephen Shucart. "Content-Based Instruction: A Tale with Two Flavors." (全国語学教育学会秋田支部例会、2008年11月22日、於：国際教養大学) (共同)</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p>	<p>1) Publicity Chair; AKITA JALT Chapter</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<p>1) 由利高等学校・秋田県立大学英語連携授業 (2008年10月21日、11月4日、11月11日、於：秋田県立大学)</p>

草薙優加 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 著書</p> <p>1) 毛利豊 編著『群読を取り入れた大学の英語授業』「《群読》古典を楽しむ一俳句から平家物語まで」(高文研、2008年11月1日)(共著)</p> <p>* 学術論文</p> <p>1) Kusanagi, Y. "Analysis of English Textbooks: How Nonverbal Communication is Included in English Textbooks with Intercultural Topics." <i>Akita Prefectural University RECCS Bulletin</i>, 9, 77-89. (単著)</p>
<p>II 学会報告等</p>	<p>1) Kusanagi, Y. "Analysis of EFL Intercultural Communication Textbooks: How Nonverbal Communication is Included in University Textbooks." Temple University Applied Linguistics Colloquium 2008 (東京都港区 Temple University, Japan Campus) February 10, 2008 (単独)</p> <p>2) Kusanagi, Y. "Learning to Read, Reading to Learn: Japanese EFL Students' Experiences in Extensive Reading." The 15th World Congress of Applied Linguistics (Applied Linguistics) (Essen, Germany) August 25, 2008 (単独)</p> <p>3) Kusanagi, Y. "Activating Learners' Confidence and Participation through Reading." 大学英語教育学会 (JACET) 東北支部例会 (宮城県仙台市 仙台市民会館) October 11, 2008 (単独)</p> <p>4) Kusanagi, Y. "Learning as Meaning-making through the Arts." PAC7 at JALT 2008: the 34th Annual International Conference on Language Teaching and Learning and Educational Materials Exposition (The Japan Language Association for Language Teaching: JALT) (東京都渋谷区 国立オリンピック記念青少年センター) November 3, 2008 (単独)</p>
<p>III 社会活動・受賞等</p>	<p>1) Temple University, Japan Campus, Working Papers in Applied Linguistics 編集委員 (2005年1月～2007年3月)</p> <p>2) 大学英語教育学会 (JACET) 全国運営委員会 研究会担当委員会 委員 (2007年4月～)</p> <p>3) 大学英語教育学会 (JACET) 東北支部 研究企画委員 (2007年4月～)</p> <p>4) 大学英語教育学会 (JACET) 東北支部 支部紀要委員 (2007年4月～)</p> <p>5) 国際表現言語学会 (International Association of Performing Language) 理事 (2007年11月～)</p> <p>6) 大学英語教育学会 (JACET) 代議員 (2008年4月～7月)</p> <p>7) 大学英語教育学会 (JACET) 社員 (社団法人化により代議員から社員に名称変更) (2008年8月～)</p> <p>8) 日本群読教育の会 常任委員 (2008年12月～)</p>

<p>V その他の活動</p>	<p>* 記事・取材協力等</p> <p>1) 『学会理事紹介(1) 草薙優加』(記事)(International Association of Performing Language Newsletter No.1, p.11. 2008年5月)</p> <p>2) 『《群読》古典を楽しむ一俳句から平家物語まで』(書籍 CD 収録協力)(高文研2008年11月1日)</p> <p>3) 『ワークショップ報告記』(記事)「こととい」秋田・市民とメディア研究会 会報30号, p. 2. 2008年12月</p> <p>* 翻訳等</p> <p>1) 『学会企画: 語学教師のためのシナリオ体験ワークショップ報告』(記事) International Association of Performing Language Newsletter No. 2, pp. 5-13. December, 2008</p> <p>* 学会大会運営等</p> <p>1) International Association of Performing Language 主催『語学教師のためのシナリオ体験ワークショップ』企画運営(於: 東京都渋谷区代々木八幡渋谷区民会館 2008年6月14日)</p>
-----------------	--

松村聡子 准教授

<p>I 著書・学術論文等</p>	<p>* 学術論文</p> <p>1) 松村聡子「鏡を見つめて——『ヴィレット』小論」(秋田県立大学総合科学教育研究センター『秋田県立大学総合科学研究彙報』第9号, pp.91-96, 2008年3月28日)(単著)</p>
<p>II 学会報告等</p>	<p>* 研究発表</p> <p>1) 「ヘレン・ハンティンドンとオリーブ・ロザセイ——ヒロインとしての女性画家——」(東北英文学会 第63回大会, 2008年11月23日, 於: 東北学院大学)(単独)</p>
<p>IV 講演・公開講座等</p>	<p>* 公開講座</p> <p>1) 大学コンソーシアムあきた 社会人講座「ジェイン・オースティンの『高慢と偏見』を読む」(於: 秋田県カレッジプラザ, 2008年11月29日, 12月6日, 12月13日, 3回シリーズ)</p>